

令和3年度 第2回 ネット・モニターアンケート

名古屋市立八事斎場の再整備について

■アンケートの趣旨

名古屋市には、現在、名古屋市立八事斎場（天白区）（以下、「八事斎場」という。）と名古屋市立第二斎場（港区）（以下、「第二斎場」という。）という2つの火葬場があります。第二斎場は、平成27年に供用開始した新しい施設ですが、八事斎場は大正4年から供用開始し、昭和45年度に改築して以降、50年経過し老朽化しているため、名古屋市では八事斎場の再整備について検討をしております。

このアンケートは、その検討を進める上で、皆様のご意見や考え方を参考とさせていただきます。

■説明・前提条件

Q1：必須 ・選択数1つ	Q2：必須 ・選択数1つ	Q3：必須 ・選択数1つ	Q4：必須 ・選択数1つ
Q5：Q4の選択による ・選択制限なし	Q6：必須 ・選択数1つ	Q7：必須 ・選択数1つ	Q8：必須 ・選択数1つ
Q9：必須 ・選択数1つ	Q10：Q9の選択による ・選択数1つ	Q11：Q9の選択による ・選択数1つ	Q12：必須 ・選択数1つ
Q13：任意 ・自由記載			

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出（このため、合計が100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常100%を超える

■アンケート実施期間

令和3年7月2日（金） から 令和3年7月12日（月）まで

■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数： 500人 回答数： 453人 有効回収率： 90.6%

■問い合わせ先

調査テーマに関すること
健康福祉局 環境業務課

電話：052-972-2658 F A X：052-972-4194
E-Mail：shinsaijo@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること
スポーツ市民局 広聴課

電話：052-972-3140 F A X：052-972-3164
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

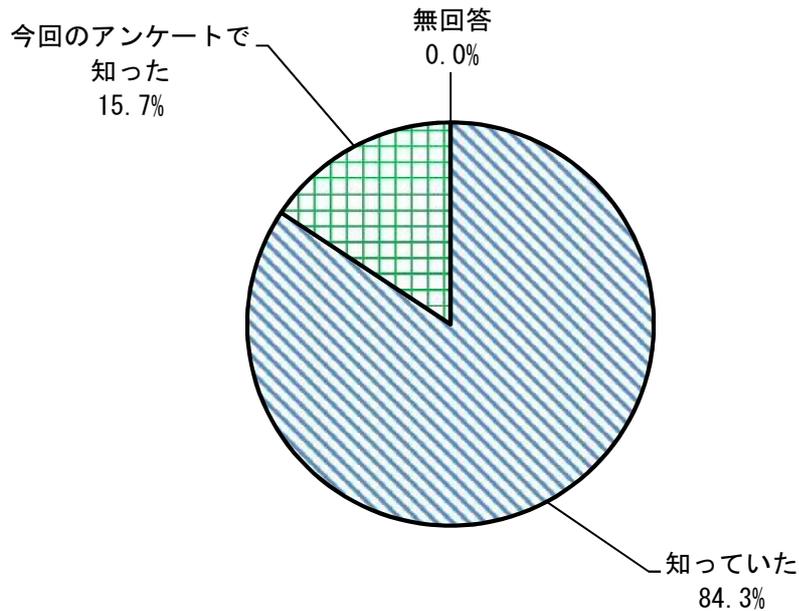
以下の設問はあなたが葬儀を取り仕切る立場であることを想定してご回答ください。
なお、身近にご不幸があった方には、心よりお悔やみ申し上げます。

回答集計

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

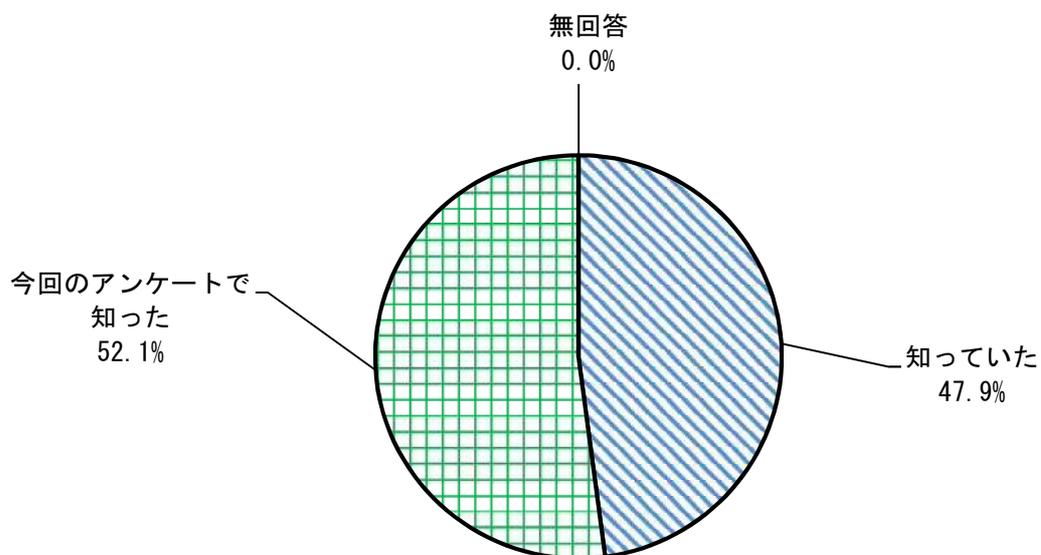
Q1【※必須】あなたは、八事斎場を知っていましたか。（選択は1つ）

N=453



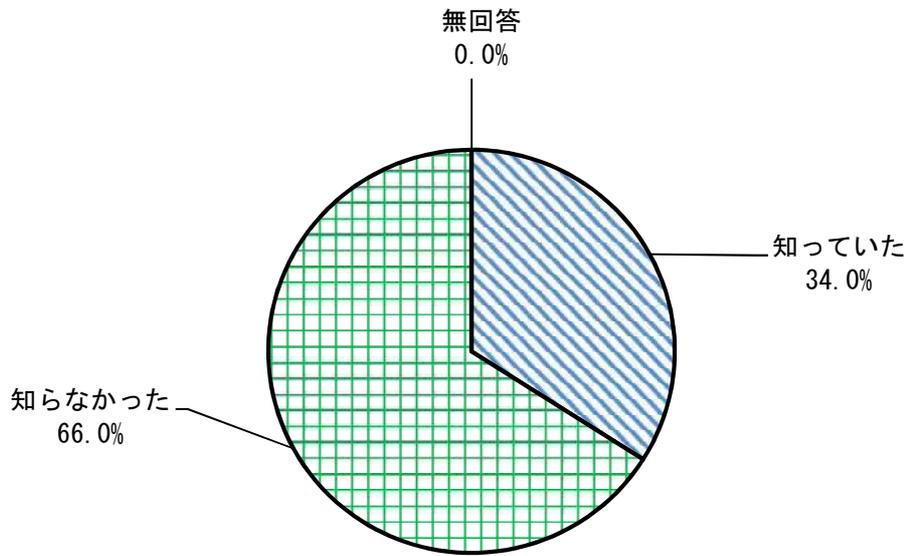
Q2【※必須】あなたは、第二斎場を知っていましたか。（選択は1つ）

N=453



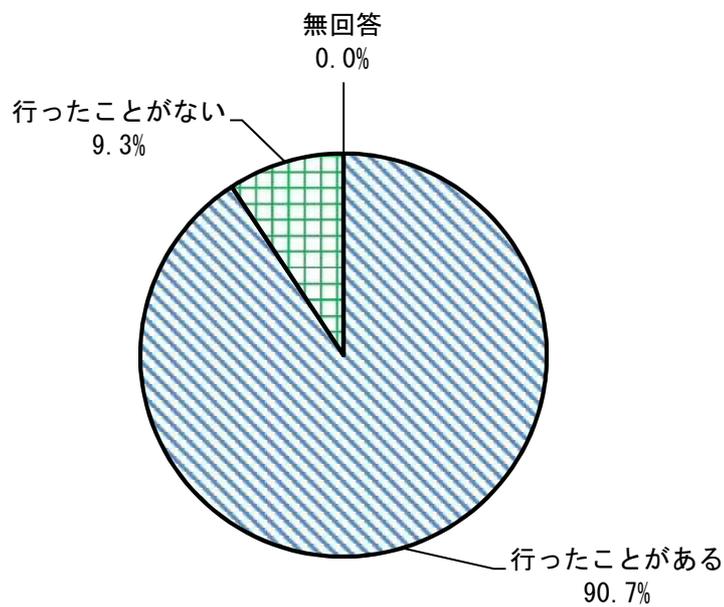
Q 3 【※必須】 あなたは、八事斎場と第二斎場は、お住いの地域に関わらず、どちらの火葬場でも利用できることを知っていましたか。(選択は1つ)

N=453



Q 4 【※必須】 あなたは、今までに火葬場に行ったことがありますか。(選択は1つ)

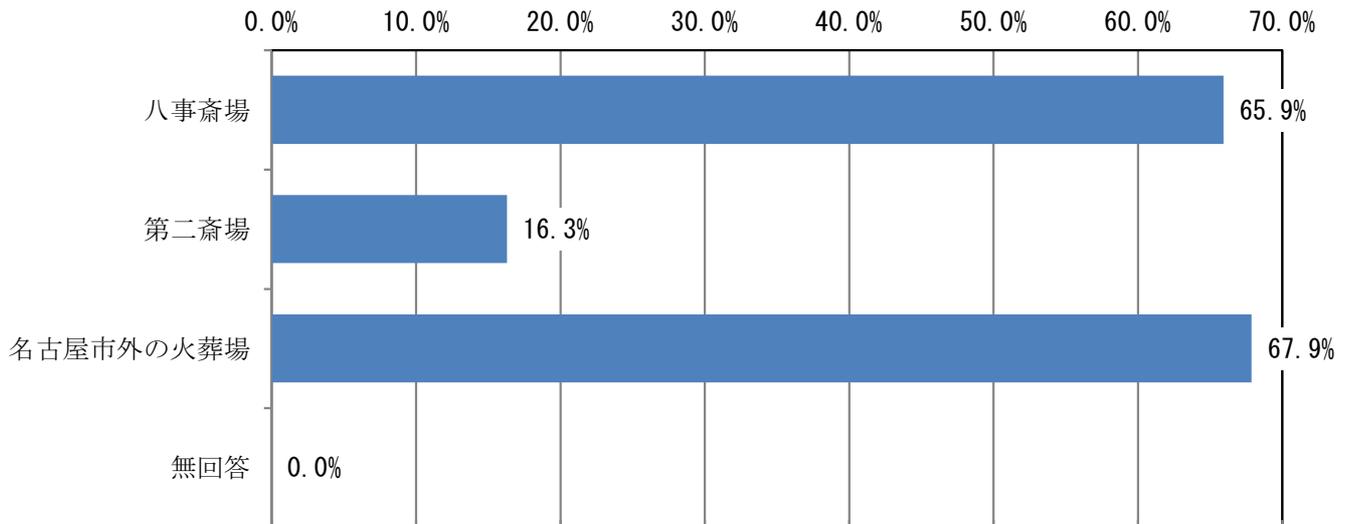
N=453



<Q5は、Q4で「行ったことがある」と答えた方におたずねします。>

Q5 あなたは、どこの火葬場に行きましたか。(選択はいくつでも)

N=411



<すべての方におたずねします。>

【火葬の予約について】

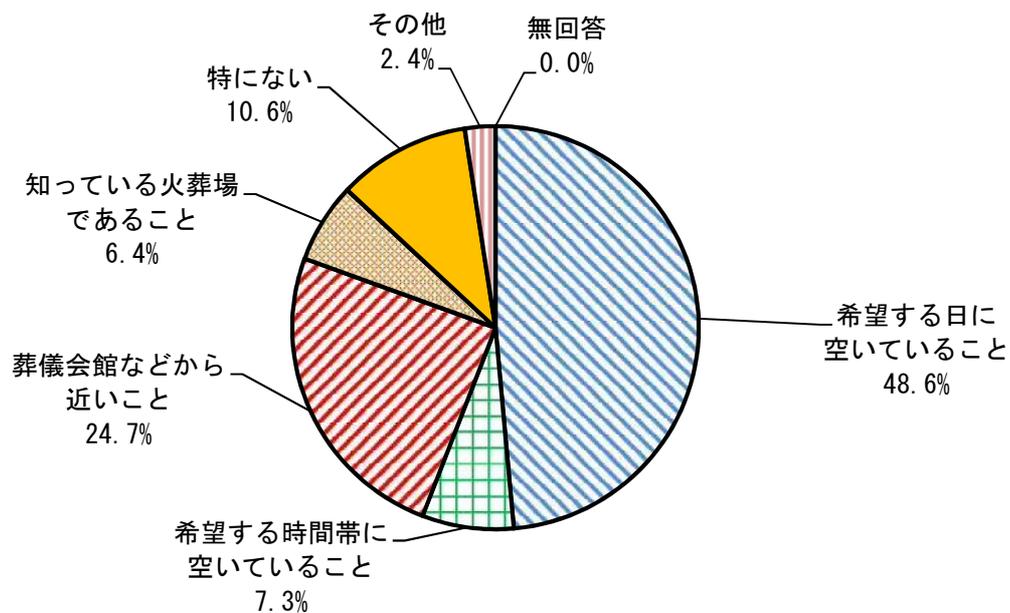
火葬をする場合、事前に火葬場へ連絡し火葬の予約をとる必要があります。

添付ファイル

[○ご不幸があつてから、火葬までの流れ.PNG](#)

Q6【※必須】あなたが利用する火葬場を決める際に、最も優先することは何ですか。(選択は1つ)

N=453

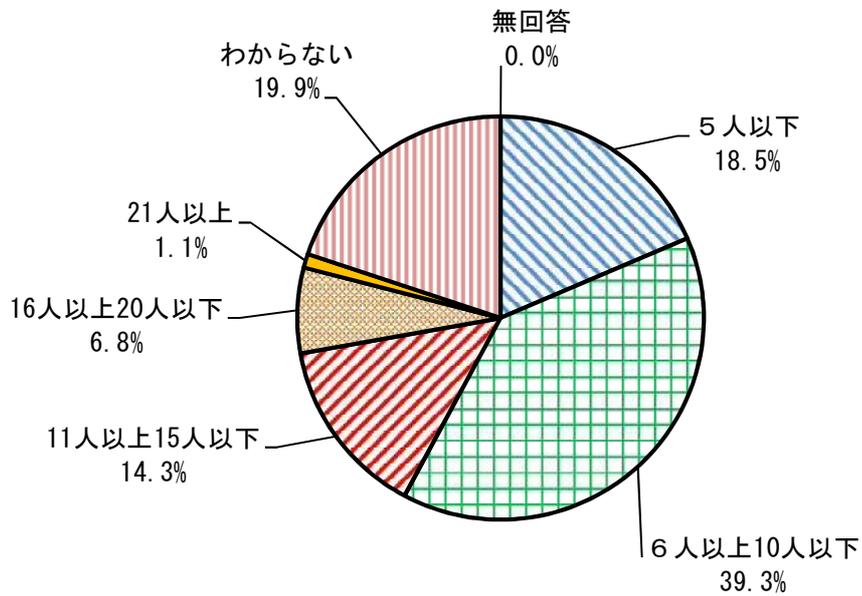


【火葬の立ち合いについて】

葬儀業者により、葬儀会館や亡くなられた方のご自宅などで葬儀を行った後に、身近な方は火葬場へ行き、火葬に立ち会います。

Q7【※必須】火葬に立ち会う人数として、あなたが望ましいと思う人数は何人ですか。（選択は1つ）

N=453



【火葬待ちについて】

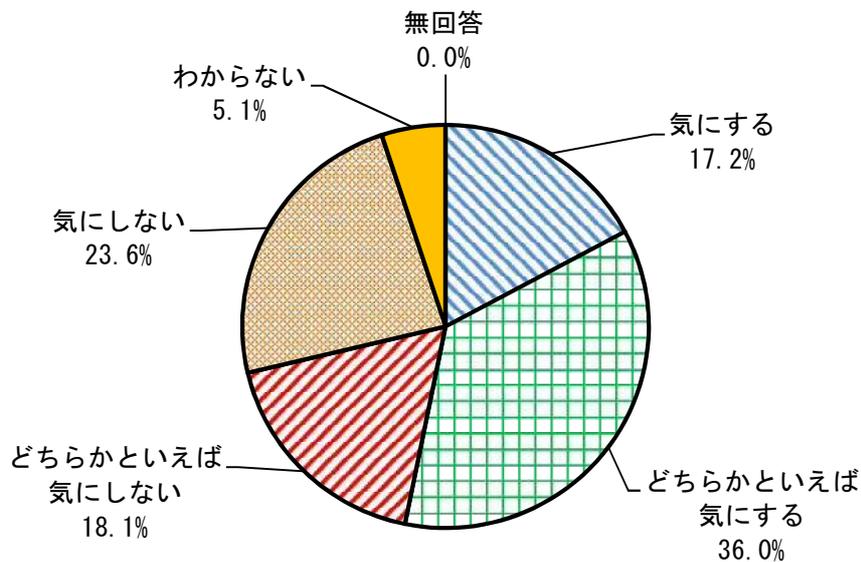
火葬の予約がいっぱいで、亡くなられてから火葬までに日数を要することを火葬待ちといいます。火葬待ちになった場合、ご遺体はドライアイスや保冷庫などにより安置していただくこととなります。

現在、恒常的な火葬待ちが発生しないよう八事斎場の再整備に向けて適切な施設規模を検討しております。

Q8【※必須】あなたは、友引日に火葬をすることを気にしますか。（選択は1つ）

いわゆる六曜の友引日に火葬をすることを気にする方がいることから、友引日の火葬需要を把握するためにお聞きするものです。なお、本市では友引日にも火葬場を開場しており、年間1,400件程度の火葬を行っています。

N=453

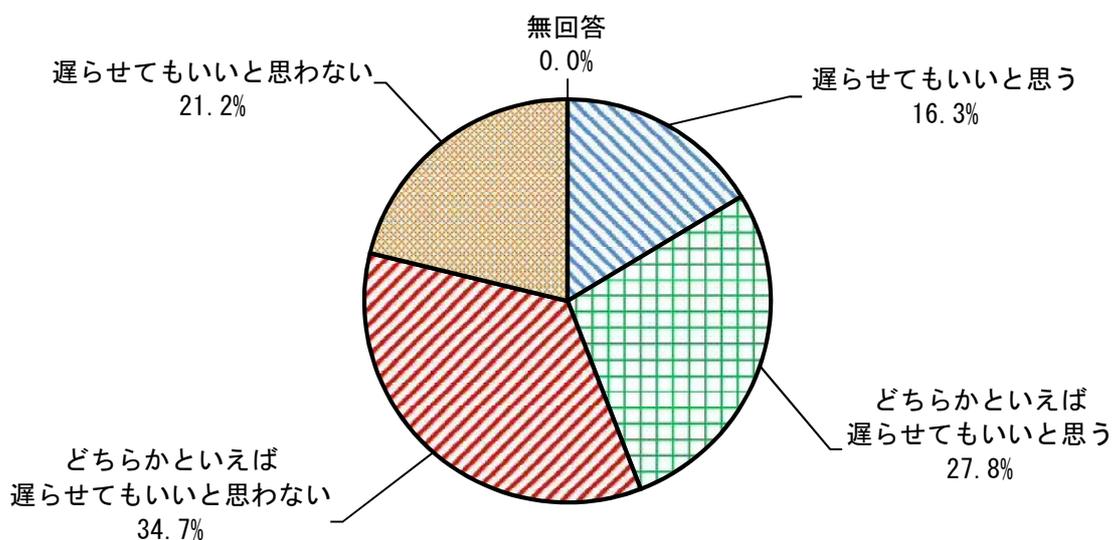


本市の火葬場を利用される方は、火葬場に行く方の負担への配慮などから、葬儀会館などで葬儀をした当日に最寄りの火葬場で火葬をする方が多く、この場合、葬儀を行う時間の都合により11時台から14時台に火葬をする方が多い傾向にあります。

Q9 【※必須】 葬儀と同日の希望する時間に最寄りの火葬場が空いていない場合、あなたは火葬を行う日を遅らせてもいいと思いますか。(選択は1つ)

日や時間帯の指定をしなければ、すぐに火葬ができるものとします。

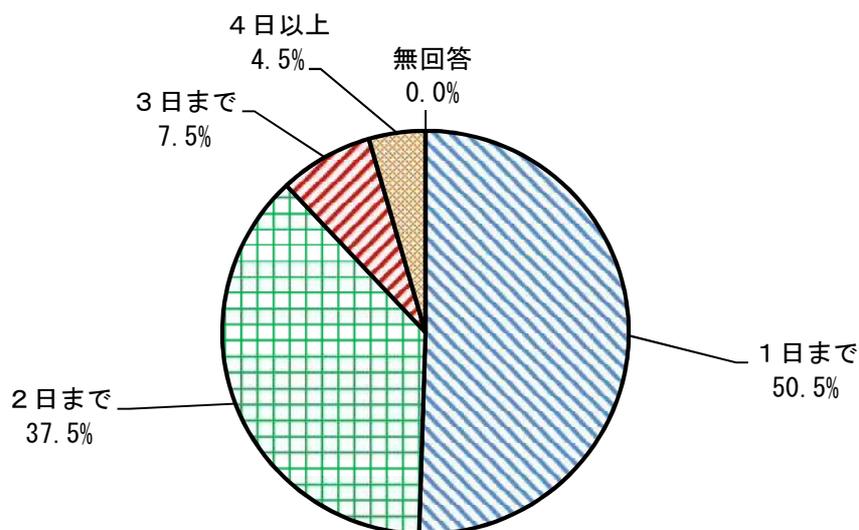
N=453



<Q10は、Q9で「遅らせてもいいと思う」「どちらかといえば遅らせてもいいと思う」と答えた方におたずねします。>

Q10 あなたが、火葬を遅らせてもいいと思う日数は何日までですか。(選択は1つ)

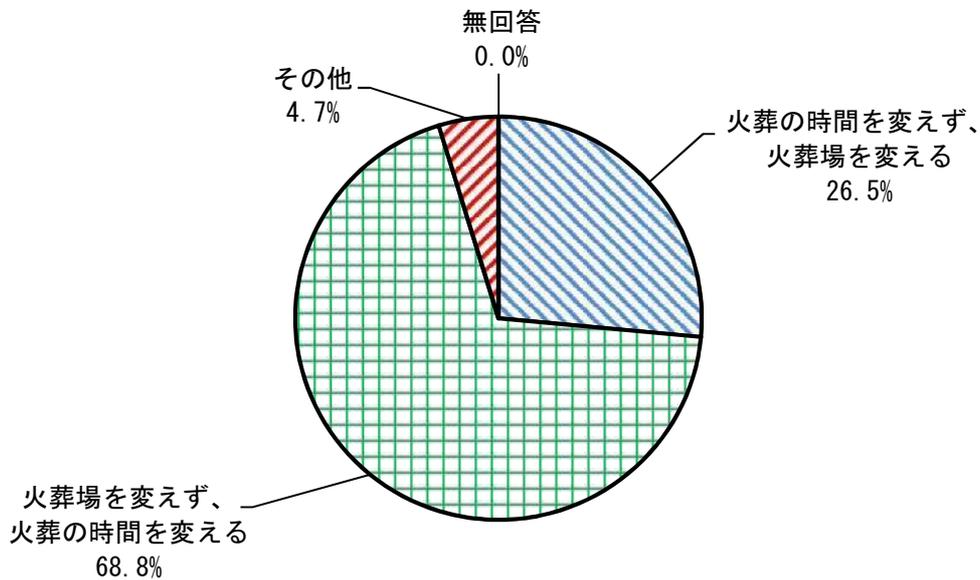
N=200



<Q11は、Q9で「どちらかといえば遅らせてもいいと思わない」「遅らせてもいいと思わない」と答えた方におたずねします。>

Q11 あなたは、火葬の日を遅らせない場合どのような対応をしますか。(選択は1つ)

N=253



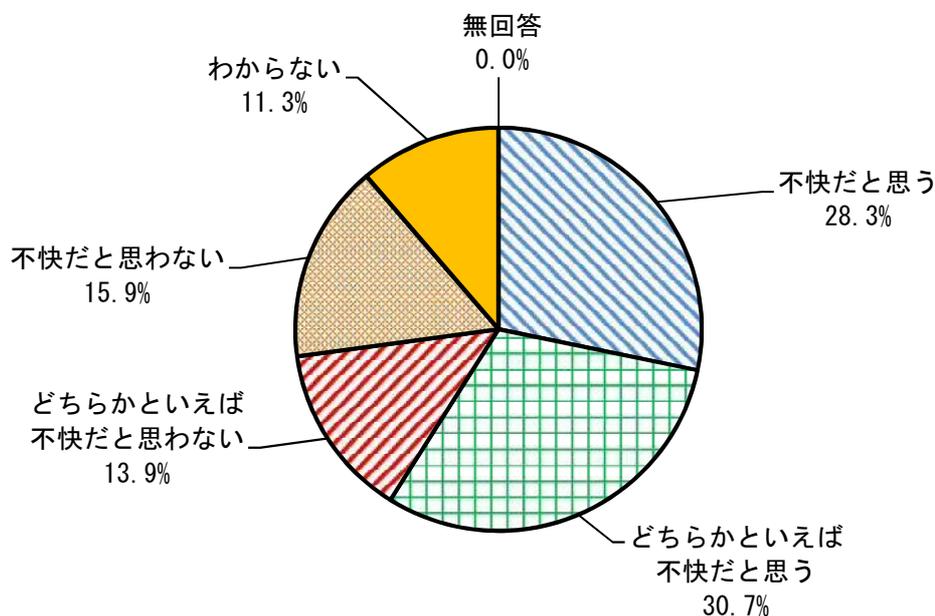
<すべての方におたずねします。>

【撮影・録音について】

現在、本市の火葬場では職員や他会葬者の肖像権への配慮などから、火葬場内での撮影・録音は禁止しております。一方で、今般のコロナ禍など様々な事情から葬儀に参列できない方への配慮として、葬儀の様子をインターネット配信する民間の葬儀業者もあると承知しております。

Q12【※必須】あなたは、棺を火葬炉内に納める様子を撮影・録音することを不快だと思いますか。(選択は1つ)

N=453



Q13 今後の八事斎場についてご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。

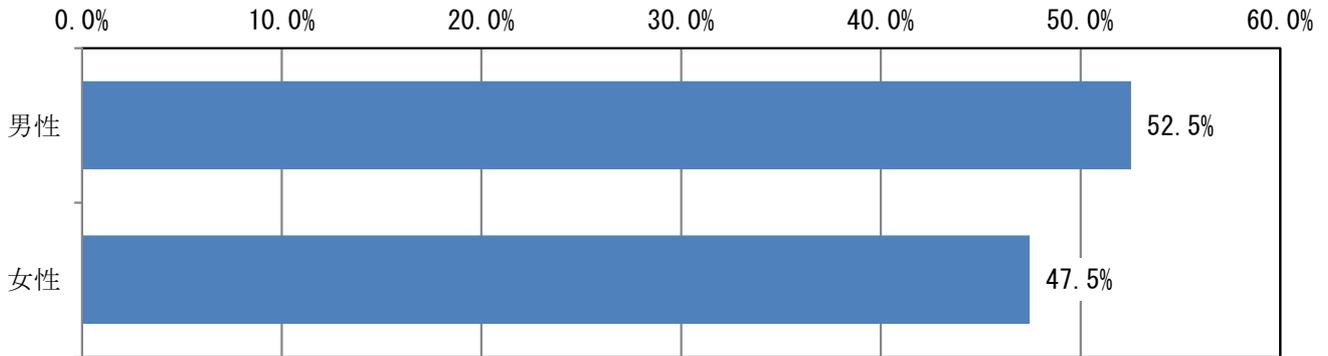
N=170

- ・ 高齢者が増加するとともに火葬の件数も増加すると思います。この需要にこたえられる容量を計画ください。第二斎場は明るい雰囲気であり、かつ周辺への配慮もされています。八事斎場も同様な改良を願います。
- ・ 収骨時に家族のプライバシーが保てる個室のような所が欲しい
- ・ 駐車場を多くして、マイクロバスやタクシーではなくてマイカーで行きやすくしてほしい。
- ・ 火葬までの待ち合わせ室は高齢化が進んでいるので畳よりも椅子や車いすの人でも待てるような作りになってほしいです。
- ・ 出席者について、現在はコロナ禍で最小限に抑えているが、今後も葬儀に出席する人数は減っていくと思われます。大切な人の最期のお別れまできれいで心地良い場であって欲しいと思います。

■属性集計

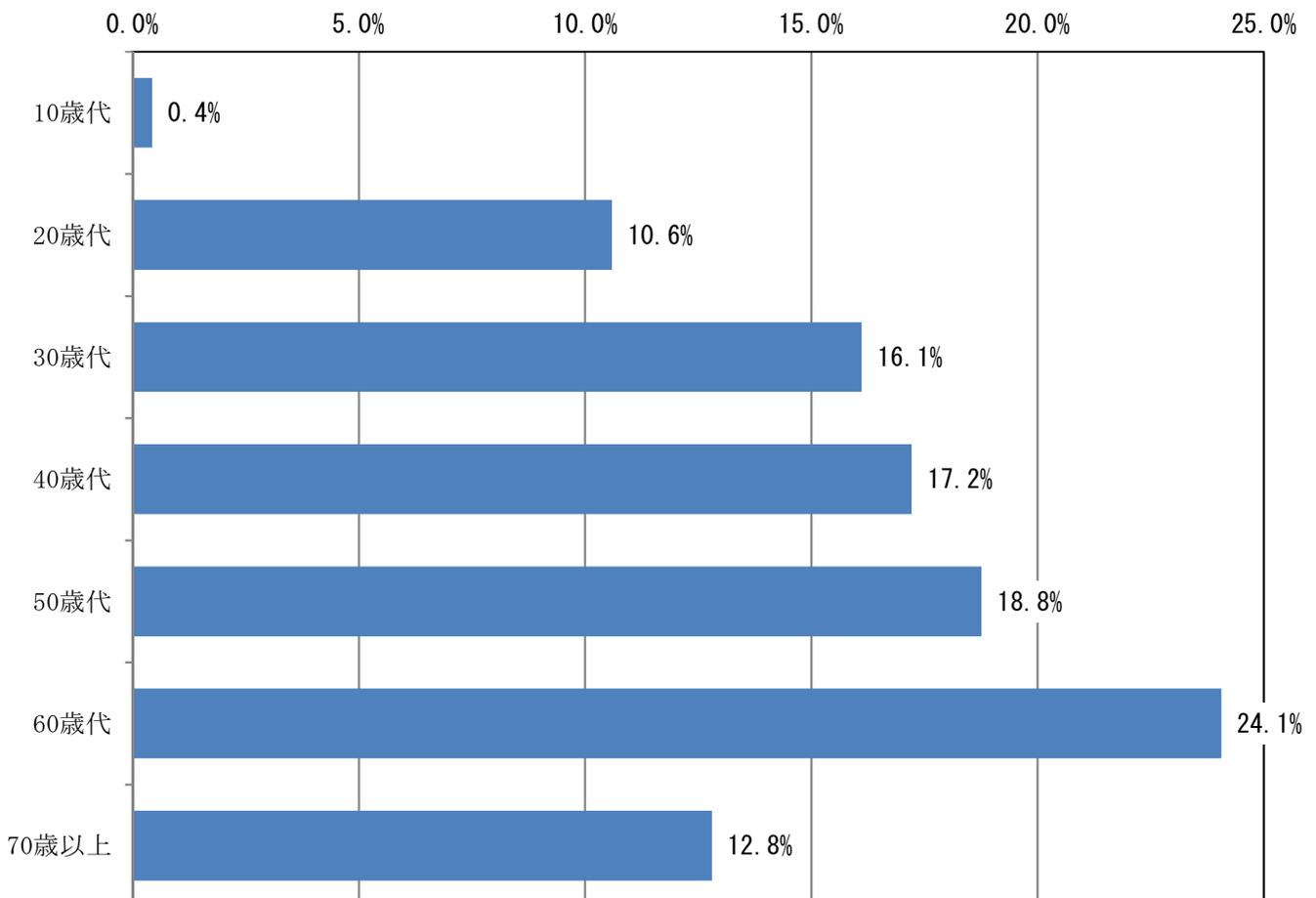
性別

	全体	男性	女性
%	100.0%	52.5%	47.5%
回答者数	453	238	215



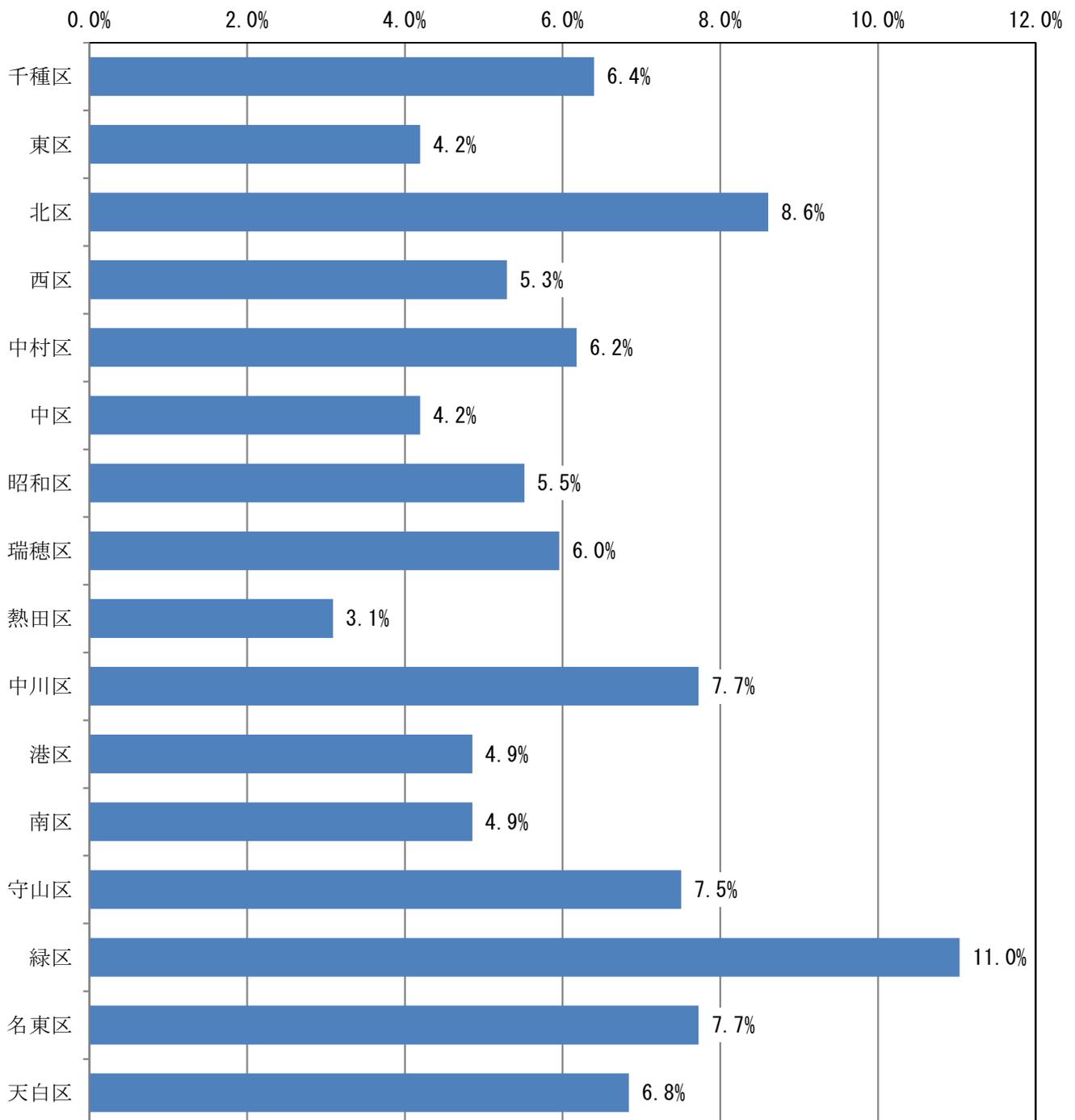
年代

	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
%	100.0%	0.4%	10.6%	16.1%	17.2%	18.8%	24.1%	12.8%
回答者数	453	2	48	73	78	85	109	58



居住区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.4%	4.2%	8.6%	5.3%	6.2%	4.2%
回答者数	453	29	19	39	24	28	19
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		5.5%	6.0%	3.1%	7.7%	4.9%	4.9%
		25	27	14	35	22	22
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		7.5%	11.0%	7.7%	6.8%		
		34	50	35	31		



添付ファイル ご不幸があつてから、火葬までの流れ.PNG

《ご不幸があつてから、火葬執行までの流れ》

- 1 ご遺族は亡くなつた方の葬儀・火葬を行うため、葬儀業者に依頼をします。
(葬儀業者を利用せず火葬を行うことも可能ですが、以下は葬儀業者を利用した場合を想定して記載しております。)
- 2 葬儀業者は、ご遺族からの依頼を受け、火葬場へ連絡し火葬の予約をとります。
- 3 葬儀業者により、葬儀会館や亡くなられた方のご自宅などで葬儀を行います。
- 4 葬儀業者の案内のもと、火葬を予約した日時に火葬場で火葬を行います。